

高知憲法速報

No.186 2009. 2. 18

発行:高知憲法会議事務局 088-872-3406

編集人 事務局 徳弘嘉孝

2月11日「建国記念の日」に反対するつどい

今年の集いは高知市の人権啓発センターで行われ160人が参加しました。実行委員長の筒井潤さんが情勢と集いの意義に触れた開会挨拶。九条の会土佐市・事務局長の田所金久さんが「記憶・責任・未来～事実に向き合う歴史認識を～」と題して講演しました。講演要旨は概要次のとおりです。

歴史とは過去と現在の対話であり、日本人が苦手としてきた「論理的で頑固であること」は、今も大切である。神話をもとに「建国の日」としているのは日本と朝鮮ぐらいで「天皇を中心にした神の国」の思想として紀元節が成立している。再軍備・軍事大国化のための思想動員として教科書問題、紀元節、日の丸君が代など、教育と行事で国民意識に影響を与えようとしてきた。戦争を考えると、原因・加害・被害・抵抗など全面的に見る必要がある。また昭和の戦争だけでなく、朝鮮侵略の継続である日清日露の戦争も含めて系統的に見なければならぬ。田母神論文は史実に対する綿密な検証もなく論文の名に値しないが、日本を被害者として描き、米中への敵愾心をあおる一方、侵略戦争を美化して自衛隊員の危険な敵愾心を高め、戦争のできる強力な軍隊を作ることが目的だ。自衛隊の幹部教育の在り方に問題がある。立ち上がるために学び歴史認識を深めよう。平和と民主主義の思想を深め、憲法を守り生かす取り組みを強めよう。日本の伝統とは、平安時代、江戸時代などに見られる長い平和の伝統であり、仏教の倫理観（不殺生）や儒教道徳、民衆の共同体意識などが支えた道徳的な力である。先進国でありながら多くの森林を持ち、稲作農業による自然保護と景観維持に努めてきた伝統を否定したのは明治以降だ。100年に一度の運動を。

進行する香南市の新基地建設の意味、低空飛行訓練の現状、リマ海域や岩国空域についてなど「高知県の軍事化の動き」について県平和委員会・徳弘嘉孝理事長が報告しました。

新教育基本法に基づく新しい学習指導要領の内容、「道徳」の問題、増大する教育現場の困難など「学習指導要領の改訂と愛国心教育」について高知県教組・西山潤書記長が報告しました。

大いに学び、世論を高めていくことを呼びかけた「集会アピール」を採択、歴教協の細木久義さんが閉会の挨拶を行いました。別紙「アピール」、参加者のアンケートまとめ、参照ください。

ソマリア自衛隊派兵問題緊急学習会 2月20日

日時; 2月20日(金) 午後6時半~8時半

講演; 「国際法と憲法から見た自衛隊のソマリア派遣」

高知短期大学名誉教授 弥永萬三郎先生

会場; 高知城ホール3階 県教組会議室

主催; 高知県平和委員会

憲法署名街頭宣伝 2月19日5:30~

帯屋町グリーンロード

憲法署名集約状況		
会員団体名	署名目標	到達数
県労連	20000	4315
県教組		1783
高教組	10000	1094
私学教組		30
自治労連		3787
県国公		2301
医労連		77
福祉保育労	3000	70
平和委員会	5000	702
民青同盟		
新婦人	20000	18013
商工団体連合会	15000	16718
自由法曹団		
山下道子事務所		
地域人権連		
母親連		11449
治安維持同盟		
共産党県委員会	40000	2907
民医連		12652
学習協		
退教協		750
退婦教		3340
高退教		100
農民連		
梅原憲作		
その他		732
街頭署名		5087
小計		85907
うち重複集約分		9269
到達合計	331000	76638
こうち九条の会街頭署名		7697
2月18日現在		